

神奈川県困難な問題を抱える女性に係る実態調査について

1 調査の目的

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づく都道府県基本計画の策定に向けて、神奈川県内における、配偶者からの暴力、性暴力、生活困窮及びその他日常生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性に係る実態を把握し、計画内容等の検討に役立てることを目的として令和5年度に実施。

2 調査方法

調査対象	神奈川県在住の18歳以上の女性で、 配偶者からの暴力、性暴力、生活困窮及びその他日常生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える人
調査方法	インターネットアンケートの登録モニターに対する調査 (参考) 登録モニター数 (令和5年6月現在) 神奈川県在住18歳以上女性 57,302人
調査の進め方	困難な問題を抱える女性に対する調査として、以下の2段階で実施。 ※アンケートアクセス総数: 7,168 サンプル ①スクリーニング調査 登録モニター (神奈川県在住18歳以上女性) から、何らかの困難な問題を抱える女性 (経験者含む) を抽出するため、困難経験の有無を問うスクリーニング調査を実施。 ②本調査 スクリーニング調査で特定した調査対象者に本調査を実施。基本属性や生活状況・意識、抱える困難の内容や対処状況、相談・支援ニーズ等を把握。
有効回数数	1,050 サンプル 年代割付3区分 (18~30歳代以下、40・50歳代、60歳代以上) ×350 サンプル

3 調査項目

調査対象として困難な問題を抱える女性 (経験者含む) を抽出するため、スクリーニング調査として性別、年齢、過去3年以内の困りごとを確認し、本調査にて、属性 (居住地域、婚姻状況、同居者の続柄、子供の年齢) と、次の27項目を調査。

(1) 経済状況について

- ・主たる家計の担い手
- ・年収

(2) 生活意識・生活状況について

- ・経済困窮感
- ・主観的健康感
- ・ストレスや生きづらさ
- ・メンタルヘルス
- ・孤独・孤立感

(3) 人間関係について

- ・親しく話ができる人
- ・不安・悩みの相談相手
- ・相談することについての考え

(4) 抱える困難の状況について

- ・抱える困難の状況（全体）
- ・暴力に係る問題
- ・性的な被害や問題
- ・生活困窮や就労に係る問題
- ・健康に係る問題
- ・家庭に係る問題
- ・職場・学校・地域での人間関係等に係る問題
- ・住まいや居場所に係る問題
- ・その他の生活上の深刻な悩み・困りごとに係る問題

(5) 抱える困難への対応について

- ・困難への対応状況
- ・公的な窓口の相談・支援を受けていない理由
- ・相談・支援窓口に望む形態

(6) 困難な問題を抱える女性に対する相談・支援について

- ・相談窓口の認知・利用状況
- ・希望する相談方法
- ・困難を解決するために必要な環境・支援
- ・DV等の解決のために必要な環境・支援
- ・抱える困難や支援に対する要望等（自由意見）

(参考) かながわ困難な問題を抱える女性等支援計画

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/cnt/f5903/index2.html>

当該ページに本調査に関する調査報告書も公開しています。